

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

国立国際医療センター リハビリテーション科では、本センターで保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究を実施しています。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 救急入院した横紋筋融解症患者のリハビリテーションに関する後ろ向き調査

[研究対象者]

2022年1月1日から2023年9月30日までの間、当院救急診療科に入院し、横紋筋融解症診断でリハビリテーション科に診療依頼のあった方。

[利用する診療情報等の項目と取得方法]

・性別・年齢・腎機能・身体機能・リハビリテーションの実施内容・介護認定有無・同居家族の有無等
カルテから上記に該当する情報を収集し利用します。

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

横紋筋融解症は骨格筋細胞の損傷に伴う病態であり、急性腎不全の併発は生命予後に関わるため、発症急性期から全身管理を要します。全身管理中も運動機能障害や日常生活活動動作の低下の予防のほか、生活環境支援面においても、体調の範囲でリハビリテーション医療の実施が検討され、リハビリテーション科への診療依頼があります。そこで今回当科は、救急診療科入院後に横紋筋融解症の診断で当院リハビリテーション科に診療依頼があった患者さんについて、診療記録情報によるリハビリテーション診療の状況を調べることにしました。

[研究実施期間] 研究実施承認日～ 2026年3月31日(予定)

[この研究での診療情報等の取扱い]

本機構倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されないよう加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立健康危機管理研究機構 理事長 國土 典宏

研究責任者：国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センターリハビリテーション科医師 早乙 女郁子

研究内容の問合せ担当者：国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センターリハビリテーション科医師 早乙女 郁子

電話：03-3202-7181(代表)(対応可能時間：平日9時～16時)

作成日：2025年 5月 13日

第 1.1版